

# 平成 29 年度第 5 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 29 年 8 月 31 日 (木) 18:30 ~ 19:15

【場 所】 望来コミュニティーセンター

【出席者】 8 名 (15 人中)

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会長	佐藤 勝彦	○	委員	小山 玲子	○	委員	中井 健太	
副会長	渡邊 教円	○	委員	今 光 江		委員	平賀 敏和	
委員	大内 さつき	○	委員	坂本 悌生		委員	前田 和也	
委員	大黒 利勝		委員	柴田 志寿子	○	委員	築田 敏彦	○
委員	小笠原 英史	○	委員	柴田 肇	○	委員	吉田 美香	

※正副会長を除き、あいうえお順

支 所 ~ 西田支所長・田村市民福祉課長(兼生涯学習課長)・佐藤主査・今野協力隊員・野呂協力隊員

事務局 ~ 高田地域振興課長・今田主査・川村主査・中村主任

(地域振興課)

【傍聴者】 1 名

- 【次 第】
1. 開会
  2. 会長あいさつ
  3. 協議事項
    - (1) 第 6 期地域協議会総括(案)について
  4. その他

## 1. 開会

### 【(厚)地域振興課 高田課長】

皆さんお晩でございます。第 5 回地域協議会開催の前に、平賀委員、坂本委員、今委員、前田委員が欠席ということで連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。

それでは平成 29 年度第 5 回地域協議会を開会いたします。会長、ご挨拶お願いいたします。

## 2. 会長あいさつ

### 【佐藤会長】

それでは改めてお晩でございます。この第 6 期の委員の皆さんたちと一緒に地域のことを考え、知恵を出し合って来ましたが、この 2 年を振り返って総括するというのが今日の議題になっております。この地域協議会で集まって、知恵を出して、協議をしてですね、やっぱりそれが地域を少しずつ良くしていくことになっていると思っております。今日の総括をして、次の第 7 期の委員の皆さんに引き継ぎ、また粛々と地域のことを考えていただくことになると思いますので、よろしくお願ひします。

### 3. 協議事項

#### 第6期地域協議会総括（案）について

##### 【（厚）地域振興課 今田主査】

私の方から第6期地域協議会総括（案）について説明をさせていただきます。

総括の前に、6月と7月の協議会で行いました座談会で皆さんからいただいた意見を簡単にまとめまして、皆様にお配りしております。6月では「多くの人に地域づくりに参加してもらうためには」、7月では「地域づくりとは」ということで、頂いた意見を今回の総括に盛り込んでおり、こちらを読み上げさせていただきますので、後ほどご意見をいただきたいと思っております。

第6期の「主な取り組みと、その成果」について。

##### 1、地域振興の核となる「道の駅」との連携について

第5期において複合施設建設構想をスタートさせ、より具体的な構想を提言し複合施設として「道の駅」が実現しました。その事業を引き継いだ第6期は、「道の駅」建設の具体的提案を行いました。

この施設は、平成29年4月運営母体となる株式会社あい風として設立、平成30年の営業開始に向け準備が進められており、多くの住民が関わり地域振興の「核」なる施設となることを描いています。

また、一方では「ゲートウェイ」としての顔を持ち、区外から多くの集客が期待されており、その受け皿にと地域では、『滞在』『周遊観光』の具現化を目指し「厚田地域着地型観光町づくり協議会」が立ち上がり、『地域資源を活用した観光商品の開発』や『民泊』について学び、『おもてなし講座』を開催するなど、住民、地域振興団体、地域協議会とともに、具体的な動きを展開しております。さらに、地域振興団体においては、従来の取り組みのほかに、道の駅を意識した新たな取り組みも進めてきました。

「近説遠来」に向けた新たな担い手確保のためにも、更なる地域活性化の動きを厚田区全体に広げるためにも、これまで以上に自治会との連携を密にしながら、町内会単位での活動の輪を広げていく必要があります。

##### 2、地域おこし協力隊のあり方について

平成26年から導入した地域おこし協力隊は、自ら企画提案し、地域に根ざした活動を実践し、退任後は区内に定住しております。また、本年5月より第2期協力隊が着任し、これまで同様、自主的に地域での活動のあり方を模索しているところです。

協力隊の持つ“新たな視点”や“感性”、“SNS”（Facebookなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスの略）を活用した情報発信は、地域活性化の大きな『戦力』となります。

今後も更なる地域活性化を目指し、合わせて厚田区内外の結び付きをより強固なものにする活動が展開出来るよう、環境整備を含めた地域おこし協力隊のあり方を検討していく必要があります。

##### 3、地域協議会のあり方について

厚田区の掲げる『近説遠来』の実現に向け、合併前の「行政主導型」から、地域協議会での検討をもとに「住民と行政の協働」が定着し、現在も各地域振興団体において生活支援、イベント開催、環境保全、文化・体育振興、厚田の魅力発信などの実践を継続しています。

第7期協議会では、さらに「住民主体」の地域を推進すべく、住民の想いや意見を集約し、地域協議会における情報を地域に限らず伝わるよう発信し、多くの住民が地域づくりに参加しやすい環境・仕組みを具体化する取り組みを重ねていくことが必要です。

また、現在のところ地域自治区の設置期限については、平成33年3月までとなっており、将来の厚田のあり方、方向性について自治会をはじめとする地域振興団体・企業を巻き込んだ、地域全体の意見集約が第7期協議会における役割の一つとなります。

##### 4、「厚田カンパニー構想」の方向性と地域協議会の見解について

いつまでも、いくつになっても住み慣れた厚田に住み続けたい、そのためには困りごとがあった時にいつでも相談できるところが身近に必要です。「厚田カンパニー構想」は、身近な困りごとの解決と住民活動の拠点づくりを目指しており、そのためには住民主体で、自治会、地域振興団体が中心となり、行政との協働で創り上げていくことが必須となります。

「できることを」「できる人が」「できるときに」、地域住民が主体となって創り上げる「厚田カンパニー」は、「近説遠来」における「近説」であり、「遠来」の「道の駅」と合わせて地域自治区振興の車の両輪となります。この「厚田カンパニー」構想は、地域協議会の今後の在り方とも大きく関係する重要なテーマでもあり、厚田区の将来を左右する重要な課題です。

本格運営までに住民、自治会、地域協議会、支所など、地域の様々な個人や団体に関わることにより、過疎地における「近説遠来」のモデル事業としても期待されます。

私からの説明は以上でございます。

## 【佐藤会長】

それではまず、6月の座談会で皆さんからのご意見を整理しますと、まずは地域づくりに参加する人を増やすためには、きっかけづくりが重要だと。そして環境を整えて、参加した人たちも含めて情報発信し、地域の方にフィードバックして次の新たな動きに繋げていく、というような流れにまとめて頂いております。7月では地域づくりとは何かということで、地域づくりの方向性をまずは目的・目標を掲げる。その具体的な目標に対して環境づくりをして、情報発信し、地域にフィードバックして、次の新たな動き、というようなことで、2回の座談会での皆さんからのご意見を集約するとこのようになります。

そこで、今話したように第6期の主な取り組みと成果というのが資料に書かれておりますが、大きく4つですね。

1点目は、地域振興の核となる道の駅との連携をどうしていくのか。

2点目は、地域おこし協力隊の方が現在2名いますが、将来的にはもっと大きな力を持って来るということですね。ですから人数が多ければ大きな力になるというわけではなく、その結束力と、厚田の色んな行事や職種やそういう人たちの中に入っていき、幅広いレパートリーを持った人に協力隊に入ってもらい、そして出来れば地域おこし協力隊はそのもので運営していくようになれば、こういうことを含めてこれから検討していく必要があるだろうと思います。

3点目は、地域協議会のあり方。平成33年3月までは自治区でございますけれども、それ以降もこの地域協議会というものが地域振興にとって重要だということであれば、厚田区はそういう自治区をやっていくということを、この地域協議会だけでなく自治会も含めてそれらをもう少し幅広く厚田区全体を考えるとこのことをここで提言していくということ。

4点目は、厚田カンパニー構想。方向性と地域協議会との関係と見解ということで、説明をされていると思います。

これらの4つに分類されたのは、最終的にこの地域を活性化し、地域を一つにするためには、厚田カンパニーという近説遠来の『近接』。そして道の駅の『遠来』。この二つを運営していくことが地域の活性化に繋がっていくだろうと、重要な課題だということです。

さて、まずこの取り組みについて、第6期が行ってきた委員の皆さんの活動がこの点の取り組みが取り上げられたらいいのでは、ということがあれば、ご意見をいただければと思います。その上で、もしそれがなければ、今ここに挙がっている4点の中身についてご意見いただきたいと思います。どうでしょうか。

今ざっと読んでいただきましたけれども、今田さん、これらに関する意見は今日限りなのか、後日でもいいのだろうか？

## 【(厚)地域振興課 今田主査】

9月の中ごろ、15日までくらいまでなら構いません。

## 【佐藤会長】

そういうことで、じっくり読んで、後日でも構いませんのでご意見などいただければと思います。

それではこの主な取り組みと主な成果については、この方向で総括をしていく、ということでもよろしいでしょうか。もし何かご意見あれば、9月の中ごろまでに事務局に連絡していただければいいと思います。よろしいですか。

それではお持ち帰りいただいて、じっくり読んでいただければと思います。

次に、その他についてお願いします。

## 4. その他

### 平成29年度の表彰候補者の推薦について

#### 【(厚)地域振興課 今田主査】

それでは石狩市表彰条例に基づく平成29年度表彰候補者推薦についてということで、石狩市の表彰というのが毎年11月に行われております。今年度の表彰候補者について市総務部より推薦依頼が地域協議会宛に来ています。

表彰の対象は市の政治・経済・文化等の各分野の発展のため貢献、尽力され、市政の推進に大きく寄与した個人または団体です。

永年に渡る地域での貢献に対し、厚田区地域協議会から故大黒利勝委員の推薦を事務局提案としてお諮りします。

**【佐藤会長】**

はい、どうでしょう。これは今年の11月に表彰式がございます。分野が市民活動の功労賞の表彰ということになります。よろしいでしょうか。

**石狩地域まるごと会議について**

**【(厚)地域振興課 今田主査】**

前回会議で、石狩地域まるごと会議に対して厚田区地域協議会からは会長を委員として推薦するというこ  
とで、前回ご意見いただきまして、社会福祉協議会に報告しております。

今回9月22日に第1回目の会議が行われるということで案内を頂いています。

**【佐藤会長】**

9月22日ということで、実は私が出席出来ませんので、どなたか代理で出られる方いますか？

**【渡邊副会長】**

私が出ましよう。

**【佐藤会長】**

ありがとうございました。

次回の開催日程お願いします。

**5. 次回会議などの日程について**

平成29年9月29日(金) 18時30分～ 厚田保健センター

**6. 閉会**

平成29年9月29日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 佐藤 勝彦